



ガスの使用を停止し、閉そく圧力が 3.50kPa 以下であることを確認してください。

4 維持管理

- 安全のために調整器、容器等の周囲に物を積み上げないでください。
- 取付けた状態で、漏えい試験及び調整器の調整圧力、閉そく圧力の点検・調査を法律で定められた頻度で行ってください。
- 圧力低下を起こした場合は、入口側のストレーナが目詰まりしている恐れがあります。この場合は調整器を取り外し、ストレーナの清掃をしてください。(KL-32Fは除く)
- この製品の交換期限は製造後7年です。また、交換期限内でも性能に異常が生じた時は、新品と交換してください。

5 製品保証

メーカー保証 本取扱説明書の基づく正常な使用状態で材質上・製造上、製品に万が一不具合が生じた場合は、製造後1年以内の期間に限り無償で修理又は新品との交換をいたします。

免責 次の場合は、製品の無償修理・交換及び保険の適用はできません。

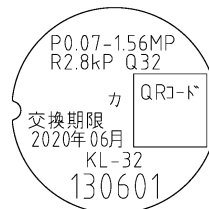
- 1) 風水害、地震等の天災や不可抗力による場合
- 2) 故意又は不注意により、故障等を生じた場合
- 3) 分解・改造・衝撃等により、故障等を生じた場合
- 4) その他製造者の責任とは認められない場合

6 QRコード表示案内

調整器の銘板にQRコードを印字しました。下記に銘板の図とQRコードの読み取り内容を示しますのでご確認ください。【銘板の図】(例:単段減圧式調整器 KL-32 の場合)

006,KL-32,201306,202006,130601,,,,カツラ,タンダン,32K,600603002,,,,

006	メーカー番号
KL-32	型式
201306	製造年月
202006	交換期限(202006:2020年6月を表します)
130601	製造番号(130601:2013年6月の1番ロットを表します)
カツラ	メーカー名
タンダン	商品名 タンダン:単段調整器を表します
32K	容量(32K:32kg/hを表します)
600603002	弊社工場の管理番号



LP ガス用 単段減圧式調整器

32kg/h KL-32

取扱説明書

製造元・販売元

株式会社 桂精機製作所

本社 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
TEL (045)461-2334 (代表)

はじめに

このたびは、カツラLPガス用単段減圧式調整器をお買い上げいただき誠にありがとうございました。この取扱説明書は製品説明・安全のために・設置工事・使用前点検・維持管理・製品保証・QRコード表示案内の順に作成してあります。

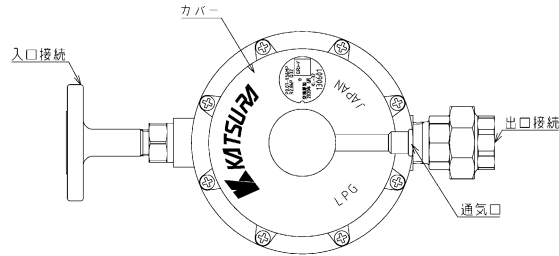
お客様にLPガスを安全・快適に使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下、液石法と呼びます)、同法施行規則、告示並びに例示基準、LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を厳守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で や を付してありますが、 は禁止、 は警告又は注意を表したものです。

LPガス用単段減圧式調整器（以下調整器と呼びます）は、高圧の液化石油ガスを燃焼器具に適切な圧力を供給するため、減圧・調整する機能を有するものです。

⚠ 製品には、「検査成績書」が同梱してありますので確認してください。
あります。

各部の名称



(主な仕様)

型式	KL-32	KL-32F
使用ガス	LPガス	
入口側接続	Rc1/2	呼び圧力20K15Aフランジ
出口側接続	Rc1	Rc1 (ユニオン)
面間寸法	216.5mm	348±5mm
整 圧 性 能	入口圧力	0.07～1.56MPa
	容量	32kg/h
	調整圧力	2.30～3.30kPa
	閉塞圧力	3.50kPa以下
安全弁	作動開始圧力	5.60～8.40kPa
	作動停止圧力	5.04～8.40kPa
気密性能	入口側	1.56MPa以上
	出口側	5.50kPa以上

⊘ この調整器は、LPガス専用の調整器です。LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので他の用途には使用しないでください。

⊘ この調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れ等による事故発生の原因となります。絶対に改造しないでください。



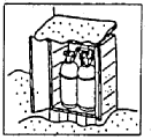
この調整器は、衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、ものを当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないでください。



落雪や落下物などにより損傷の恐れのある場所、また、長時間直射日光にさらされる場所に設置させる場合は、収納庫などで適切に防護してください。



この製品は、圧力が異常上昇した際にガスを外に逃がすために安全弁が内蔵しています。火気から2m以上離れた屋外に設置してください。また、密閉場所には設置しないでください。



収納庫で防護する



調整器の取付工事はLPガス設備士自ら施工してください。



火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所には設置しないでください。



調整器は、有害ガス（例：アンモニア・亜硫酸ガス等）の影響を受ける恐れのある場所には設置しないでください。



調整器を配管等と接続する際には、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切削油、ゴミ等の異物を完全に除去してください。



ねじ接続には、接続するねじの先端2山を残してガス用シールテープ（又はガス用不乾性シール剤塗布）を巻いてください。シール剤は管路中に侵入しないよう注意してください。



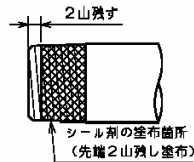
配管用パイプレンチをスパナ代わりにして調整器側を締め付けしないでください。



調整器に通気口から雨水等の浸水により凍結することを防ぐため、適切に保護してください。



調整器内部にドレンが溜まらないように、水平または出口側が下向きになるように設置し、出口配管部にドレン抜きを設けてください。



使用前点検



調整器の取付工事終了時には、必ず液石法で定められたガス配管の気密試験を実施し漏れないことを確認してください。



周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアパージを行ってください。



調整器出口における調整圧力が2.30～3.30kPa範囲内であること、設置された燃焼器具の入口圧力が適切であることを検査し、調整器が正常に作動していることを確認してください。